

玉議第00049号
令和7年9月26日

玉城町長 辻村 修一様

玉城町議会議長 小林 豊



教育民生常任委員会からの提言

表題の件について、下記のとおり提言内容を取りまとめ、玉城町議会として町長に要望することを提案いたしますので、ご検討くださいますようお願い申し上げます。

記

1. 提言内容

介護老人保健施設ケアハイツ玉城について、今後の運営の在り方を見直す観点から、その役割や必要性を改めて評価するとともに、将来的な施設の縮小や撤退も視野に入れた抜本的な検討を行うことを求めます。

2. 提言の理由及び主旨

介護老人保健施設ケアハイツ玉城には、平成2年度以降、毎年度、一般会計から多額の繰出金が投入されており、令和6年度においては約4,800万円が支出されています。

これは、事業としての収支が自立しておらず、町財政に継続的な負担を与えている状況です。

一方、近年は町内において民間の老人福祉施設が整備・拡充され、サービス水準や受け入れ体制も一定程度充実してきており、公的施設が単独で担うべき役割や意義について再考の余地が生じています。

今後、限られた財源の中で町民福祉の維持・向上を図るためには、町立施設の果たすべき機能、民間との役割分担、運営形態の在り方を見直し、持続可能な制度運営を目指すことが不可欠です。

こうした背景を踏まえ、町としての運営方針を明確化するとともに、必要に応じて指定管理者制度の活用や機能移管、さらには段階的な撤退を含め、多角的な検討を行うことを提言するものです。

3. 執行部への要望

本提言に関し、介護老人保健施設ケアハイツ玉城の役割や運営の必要性についての町としての見解、ならびに今後の在り方について、町議会への説明と回答を求めます。